

能・狂言

三鷹

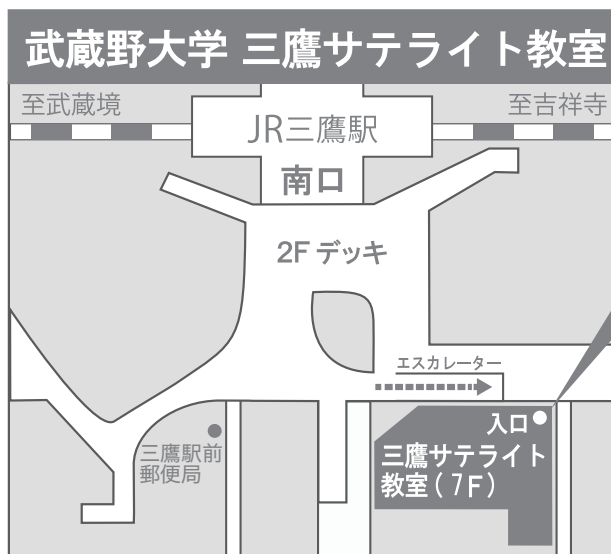
0401005

## 能の見方・味わい方

— 入門編2 —

受講料 (振込額)	4,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程 4月19・26日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全2回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学客員教授・元本学能楽資料センター長 羽田 昶 (はた ひさし)				
	1939年(昭和14)東京生。國學院大學文学部卒。海城高等学校・開成高等学校教諭、東京国立文化財研究所芸能部研究員、室長を経て、2000-2010年(平成12-22)武蔵野女子大学(武蔵野大学)教授。その間、2002年(平成14)より同大学能楽資料センター長。現在、武蔵野大学客員教授、同大学能楽資料センター研究員。専攻は能・狂言を中心とする演劇研究。観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。 著書(共著)に『狂言・鑑賞のために』(1974、保育社)、『能・本説と展開』(1977、桜楓社)、『能の作者と作品』(1987、岩波書店)、『能の囃子事』(1990、音楽之友社)、『能楽大事典』(2012、筑摩書房)、『昭和の能楽 名人列伝』(2017、淡交社)ほか。				
内容	能は室町時代に観阿弥・世阿弥父子により大成し、近世・近代を通して、現代にも上演されている、高度に完成された演劇です。演劇ではありますが、650年以上の歴史を経過していますから、日本の中世的な美意識や独特の作劇法と演技術に支えられた古典芸能です。 入門編2として、今回は、能の劇構造と演技・演出について、また能の演者と各役の分担、シテ方から囃子方に至るまでの各流派について、視聴覚資料を用いながらお話しします。				
	① 4月19日：能の劇構造と演技 ② 4月26日：能の演者—各役の分担と流派				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。